

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIポストコロナ ファンド」は2021年7月5日に第1期決算を行いました。

当ファンドは、主として、日本、米国及び香港を中心とした世界の金融商品取引所に上場し、新型コロナウイルスと闘い、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する企業の株式等（DR：預託証券を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第1期末（2021年7月5日）

| | |
|------------|----------|
| 基準価額 | 11,843円 |
| 純資産総額 | 1,551百万円 |
| 第1期 | |
| 騰落率 | 18.4% |
| 分配金（税込み）合計 | 0円 |

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIポストコロナ ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第1期（決算日2021年7月5日）

作成対象期間（2020年7月8日～2021年7月5日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

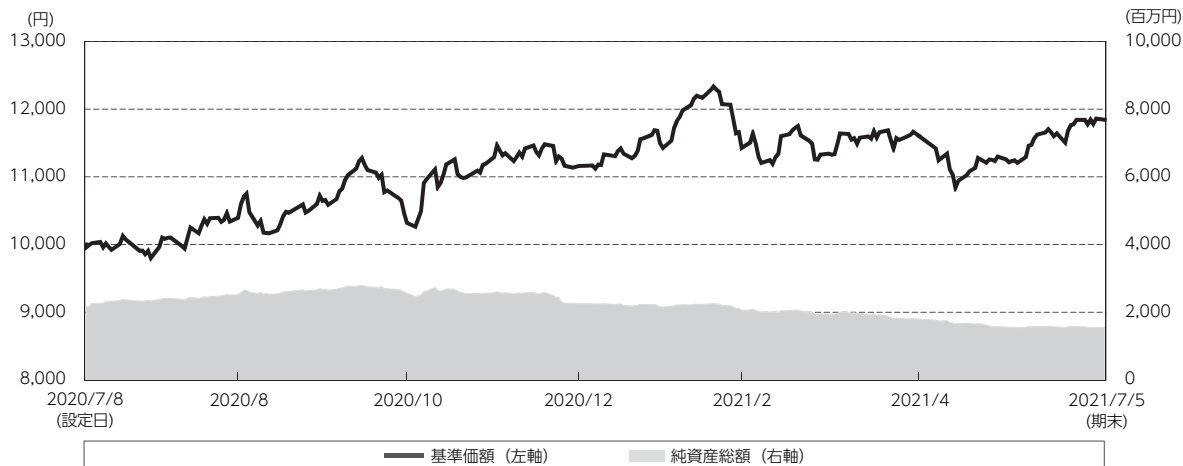
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2020年7月8日～2021年7月5日)



設 定 日： 10,000円

期 末： 11,843円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰 落 率： 18.4% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは、主として、日本、米国及び香港等を中心とした世界の金融商品取引所に上場し、新型コロナウイルスと闘い、デジタルトランスフォーメーション (DX) を推進する企業の株式等 (DR：預託証券を含みます。) に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、2020年7月8日に設定したあと、新型コロナの感染第2波への懸念や米ナスダック指数の上昇一服などを受けやや調整し、7月31日に当期最安値となる9,801円を付けました。その後、米株高や企業業績の底打ち期待などを受け反発すると、コロナ禍でニーズが高まると期待された銘柄や中小型グロース株などを物色する動きが加速したことから、当ファンドの基準価額も上昇基調となりました。年明け後も株式市場は堅調に推移し、2月中旬に日経平均株価が30年半ぶりに3万円台の大台に乗せると、当ファンドも2月16日に期中最高値となる12,336円を付けました。期の下旬は、米国株式の銘柄選定は奏功した一方、国内株式では物色の対象が景気敏感株や割安株にシフトしたことから、当ファンドは上値が重くなりました。決算日である7月5日の基準価額は11,843円となりました。個別銘柄では、モデルナやCloudflare Inc、富士フイルムホールディングスなどの上昇がプラス寄与した一方、テラスカイ、アンジェス、アセンテックなどの下落がマイナス寄与となりました。

1万口当たりの費用明細

(2020年7月8日～2021年7月5日)

| 項 目 | 当期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|-------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 124 | 1.121 | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (72) | (0.656) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (48) | (0.438) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (3) | (0.027) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 18 | 0.159 | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株 式) | (18) | (0.159) | |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 3 | 0.024 | (c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株 式) | (3) | (0.024) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 15 | 0.132 | (d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (6) | (0.055) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (3) | (0.030) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印 刷) | (5) | (0.046) | 開示資料等の作成・印刷費用等 |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) | 信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合 計 | 160 | 1.436 | |
| 期中の平均基準価額は、11,043円です。 | | | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

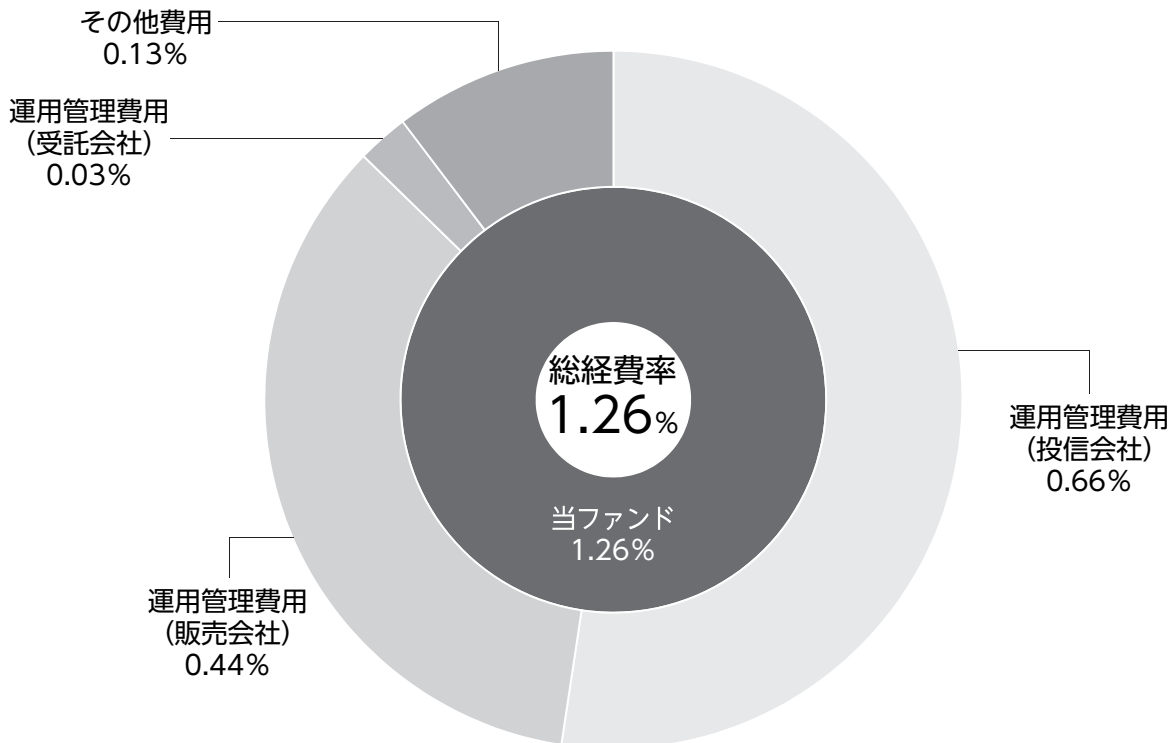
(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 上記費用は、1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

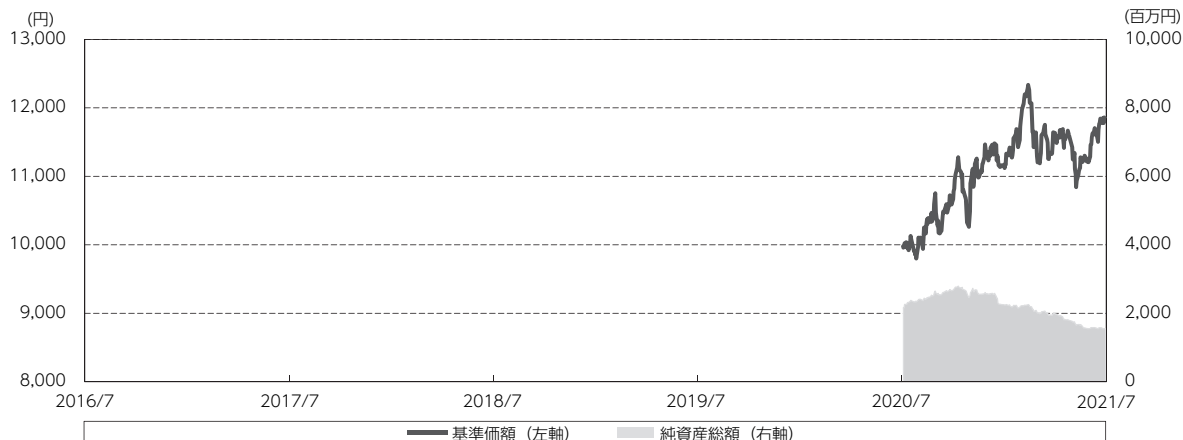
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年7月5日～2021年7月5日)



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2020年7月8日から2021年7月5日）のみの記載となっております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

| | 2020年7月8日 設定日 | 2021年7月5日 決算日 |
|-------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 10,000 | 11,843 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 0 |
| 基準価額騰落率 (%) | — | 18.4 |
| 純資産総額 (百万円) | 2,163 | 1,551 |

(注1) 当ファンドは、主として、日本、米国及び香港等を中心とした世界の金融商品取引所に上場し、新型コロナウイルスと闘い、デジタルトランスフォーメーション (DX) を推進する企業の株式等 (DR：預託証券を含みます。) に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年7月5日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2020年7月8日～2021年7月5日)

※以下のコメントの内容は、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

当期の日本、米国、香港の株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の煽りを受けたものの、総じて堅調でした。日本株は2020年7月、コロナ禍による世界経済の減速が警戒され伸び悩みました。8月末に安倍晋三前首相の辞意が伝わり政局の混乱が意識されましたが、菅義偉首相の新内閣が発足したことで底堅く推移しました。10月には東証の大規模システム障害が発生し、米国の新型コロナに対する追加経済対策をめぐる与野党協議の難航も懸念されましたが、11月の米大統領選挙で民主党のバイデン氏が勝利し大規模経済対策への期待が強まると、日経平均株価は急騰しバブル崩壊後の最高値を更新しました。年末に英国で新型コロナワクチン接種が始まり、リスク選好姿勢が継続しました。

2021年1月、米連邦議会議事堂への暴徒乱入が投資家心理を冷やしたものの、バイデン政権の政策への期待が株式相場を支えました。2月、日本での新型コロナワクチン接種開始を織り込み、日経平均株価は約30年6カ月ぶりに3万円の台を一時回復しました。3月に米国での大規模経済対策の成立を好感する動きとなりましたが、4月は東京都などでの緊急事態宣言再発出に対する警戒が強まりました。5月から6月にかけては米国のテーパリング（量的緩和の段階的縮小）観測が株価の変動要因となりましたが、日本株は底堅く推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

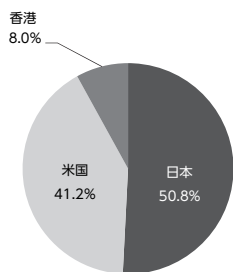
(2020年7月8日～2021年7月5日)

主として、日本、米国及び香港等を中心とした世界の金融商品取引所に上場し、新型コロナウイルスと闘い、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する企業の株式等（DR：預託証券を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。また、日本を除く金融商品取引所に上場する株式への投資は、原則として信託財産の純資産総額の50%を上限とし、運用いたしました。

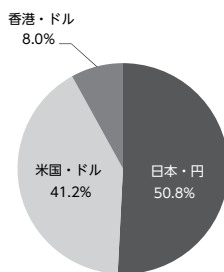
また、投資対象銘柄の選定については、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社による投資助言を活用し、運用を行いました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

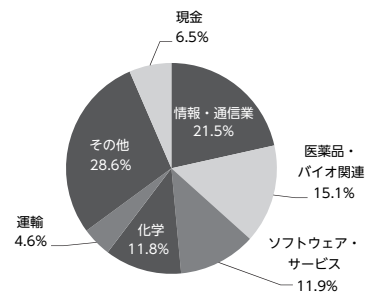
国・地域別構成比率



通貨別構成比率



業種別構成比率



※国・地域別構成比率及び通貨別構成比率は、いずれも組入株式評価額に対する割合です。

※業種別構成比率は、純資産総額に対する割合です。

※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

※国・地域は投資国または発行国を表示しているため、主要取引所国とは一致しない場合があります。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年7月8日～2021年7月5日)

当ファンドは、主として、日本、米国及び香港等を中心とした世界の金融商品取引所に上場し、新型コロナウイルスと闘い、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する企業の株式等（DR：預託証券を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2020年7月8日～2021年7月5日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第1期 |
|-----------|-------------------------|
| | 2020年7月8日～ 2021年7月5日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,843 |

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

引き続き、主として、日本、米国及び香港等を中心とした世界の金融商品取引所に上場し、新型コロナウイルスと闘い、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する企業の株式等（DR：預託証券を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

なお、投資助言を行っているモーニングスター・アセット・マネジメント株式会社では、以下のよう
にコメントをしています。

新型コロナウイルスを巡り、感染力が高いとされる「デルタ株」の感染が世界中で広がっています。ワクチン接種が高齢者を中心に進んでいますが、今後はより効果を高めるため3回目のブースター接種も視野に入ります。また、市場の関心は新型コロナウイルス治療薬にも高まっています。こうしたワクチンや治療薬の開発・製造・販売を手掛ける企業や、技術的、金銭的に支援する企業を引き続きフォローしていきたいと考えています。

「デルタ株」の感染拡大によりワクチン接種が進んだとしても、政府による都市封鎖（ロックダウン）や緊急事態・蔓延防止措置、それに伴う外出規制・自粛の呼びかけによる社会活動の制限はしばらく継続すると見られます。IT等を活用し人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる企業、いわゆるデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する企業や、非接触・非対面を後押しする技術、「巣ごもり」や自粛を支える事業、またはこれら企業や技術を支援・推進する企業への投資を継続する方針です。

お知らせ

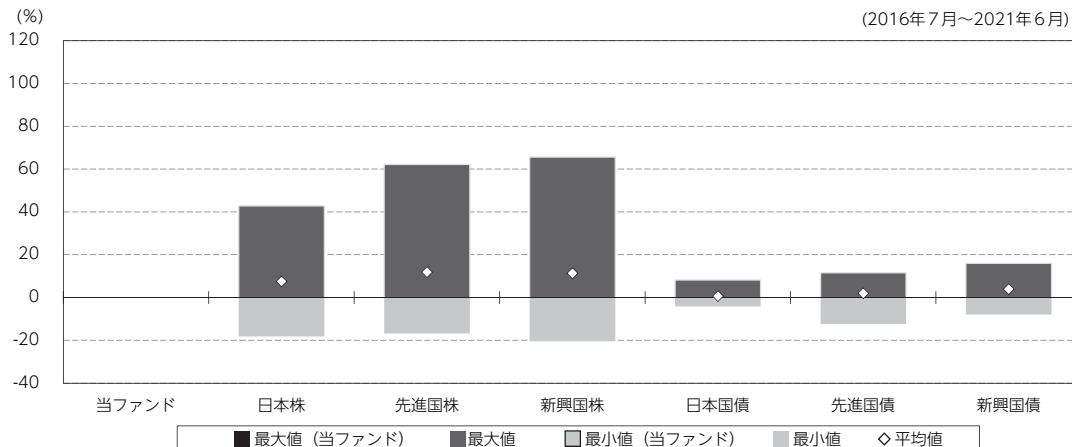
該当事項はありません。

当ファンドの概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 信託期間 | 2023年7月5日まで（設定日：2020年7月8日） |
| 運用方針 | 信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 日本、米国及び香港等を中心とした世界の金融商品取引所に上場する株式等（準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、日本、米国及び香港等を中心とした世界の金融商品取引所に上場し、新型コロナウイルスと闘い、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する企業の株式等（DR：預託証券を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。日本を除く金融商品取引所に上場する株式への投資は、原則として信託財産の純資産総額の50%を上限とします。組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。また、投資対象銘柄の選定については、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社による投資助言を活用します。 |
| 分配方針 | 年1回（原則として毎年7月5日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。 |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|
| 最大値 | — | 42.8 | 62.2 | 65.6 | 8.2 | 11.6 | 16.0 |
| 最小値 | — | △ 18.2 | △ 16.8 | △ 20.4 | △ 4.1 | △ 12.3 | △ 8.0 |
| 平均値 | — | 7.6 | 11.9 | 11.4 | 0.7 | 2.0 | 4.0 |

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2016年7月から2021年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため掲載していません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2021年7月5日現在)

○組入上位銘柄

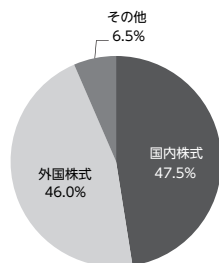
| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|----|----------------|------------------------|-----|-------|-----|
| | | | | | % |
| 1 | 三菱ケミカルホールディングス | 化学 | 円 | 日本 | 4.7 |
| 2 | 富士フイルムホールディングス | 化学 | 円 | 日本 | 4.1 |
| 3 | ギフトィ | 情報・通信業 | 円 | 日本 | 4.0 |
| 4 | モデルナ | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 米ドル | 米国 | 3.2 |
| 5 | ユニ・チャーム | 化学 | 円 | 日本 | 3.1 |
| 6 | GMOペイメントゲートウェイ | 情報・通信業 | 円 | 日本 | 2.7 |
| 7 | ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 円 | 日本 | 2.7 |
| 8 | 小野薬品工業 | 医薬品 | 円 | 日本 | 2.6 |
| 9 | ファイザー | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 米ドル | 米国 | 2.6 |
| 10 | ウーバー・テクノロジーズ | 運輸 | 米ドル | 米国 | 2.5 |
| | 組入銘柄数 | 48銘柄 | | | |

(注1) 各比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

○資産別配分

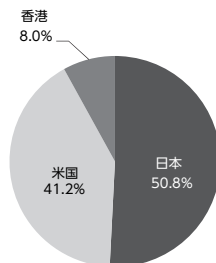


(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

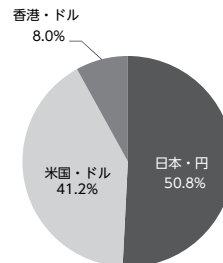
(注2) 国別・通貨別配分の比率は組入株式評価額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

○国別配分



○通貨別配分



純資産等

| 項目 | 第1期末 |
|------------|----------------|
| | 2021年7月5日 |
| 純資産総額 | 1,551,141,933円 |
| 受益権総口数 | 1,309,713,831口 |
| 1万口当たり基準価額 | 11,843円 |

(注) 期中における追加設定元本額は920,741,103円、同解約元本額は1,774,897,070円です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

《寄付先のご報告》

■第1期寄付先のご紹介

- 目論見書に記載のとおり、第1期（決算日2021年7月5日）は、信託報酬の中から総額4,397,104円（日々の信託財産の純資産総額に年0.2%の率を乗じて得た金額）を、委託会社名で次の3団体に寄付いたしました。

| 名称 | 寄付の使途及び各団体の活動概要 |
|---|---|
| <p>公益財団法人パブリックリソース財団</p> <p>https://www.public.or.jp/</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症による、雇用喪失・生活困窮分野及び福祉・教育・子ども分野へご寄付</p> <p>医療分野、福祉・教育分野、文化・芸術・スポーツ分野、中小企業支援等、助成を希望する分野を特定した上での寄付が可能。</p> <p>公益財団法人パブリックリソース財団は、直接寄付金を受付けるほか、助成申請を公募し、審査委員会が審査して、助成先を決める等の事業も行っている。審査における視点・観点は以下のとおりである（第3回助成結果報告より）。</p> <p>(1) 医療分野 組織の信頼性、これまでの実績や申請事業の明確さ、緊急性など</p> <p>(2) 福祉・教育・子ども分野 組織の信頼性、これまでの実績に加え、受益者のニーズを確実に捉えているか、実現可能な計画になっているか、など</p> <p>(3) 文化・芸術・スポーツ分野助成基金 これまでの実績や、文化・芸術・スポーツ活動の存続や再開に向けた活動になっているか、今後の社会における心と身体ゆたかさの回復・向上に貢献するか、など</p> <p>(4) 経営困難に追い込まれた中小企業分野 新型コロナで被ったダメージが大きい、経営努力がなされている、事業を通じて社会や地域に貢献しているなど</p> |
| <p>国立国際医療研究センター</p> <p>https://www.ncgm.go.jp/</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症の治療・研究へご寄付</p> <p>2010年4月、国立国際医療研究センターは「高度専門医療に関する研究等を行う独立行政法人に関する法律」に基づき、発足。感染症・免疫疾患並びに糖尿病・代謝疾患等に関する研究や高度総合医療を提供するとともに、医療の分野における国際協力や医療従事者の人材育成を総合的に展開。同センターは、全国に4カ所ある、新感染症の患者の入院医療を担当できる基準に合致する病床を有する特定感染症指定医療機関の一つで、その中で最も多くの病床を有す。2020年1月武漢チャーター便帰国者のPCR検査も同センターで行われた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応のために、より多くの患者、特に重症患者への医療の提供、新たな治療薬や治療法の開発に向けた調査研究、治療や感染症予防に関する情報発信・学術発信、国際協力や国際共同研究などの目的で新型コロナウイルス感染症対策特別基金に対する支援を募る。2021年1月26日に開かれたメディア向けオンラインセミナーで、ウイルスの増殖に必要な酵素の働きを妨げる新たな治療薬の候補となる物質を複数見つけたことを明らかにし、今後臨床での応用を目指して研究を進めるとしている。</p> |
| <p>日本医師会</p> <p>https://www.med.or.jp/</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症の治療・研究へご寄付</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応にあたる医療従事者・医療現場への支援を募っている。寄付金の種類には、①一般寄附金と②指定寄附金があり、指定寄附金を選択した場合は、「①コロナ給付金寄付プロジェクト」同様に「新型コロナウイルス感染症に対応にあたる医療従事者・医療現場への支援」と記入することで、使途の指定をすることができる。</p> |